



ジャパントラックショー2026

実施報告書



トラック関連業界、日本最大の展示会!!

5/14(木)・15(金)・16(土) パシフィコ横浜

10:00▶18:00 (5/16のみ17:00まで)

■ご挨拶・開催概要	
■結果概要	1
■来場者の構成	1
■来場者アンケート結果	4
■主催者特別講演の内容	10
■出展社一覧	11
■取材メディア一覧	12
■次回開催のご案内	

ご 挨 拶

この度、日本最大のトラック関連総合展示会「ジャパントラックショー2026」を、2026年5月14日(木)から16日(土)までの3日間、パシフィコ横浜にて無事開催する事ができました。

170社598小間の企業様によるご出展、各種ワークショップのほか、主催者特別講演やパネルディスカッションなどのイベントを実施し、3日間で、66,831名の方々のご来場を賜りました。

本資料は、来場者様のご登録情報ならびに会期後メールにて実施させていただきましたアンケートを元に構成いたしました。

今回の結果を踏まえ、次回の「ジャパントラックショー2028」がより良いものになるよう事務局運営に努めてまいります。

今後ともジャパントラックショーへのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

主催：一般社団法人 国際物流総合研究所 会長 南 元一

開 催 概 要

名 称	ジャパントラックショー 2026
会 期	2026年5月14日(木)、5月15日(金)、5月16日(土) 10:00~18:00 / 最終日は 17:00 にて終了
会 場	パシフィコ横浜
主 催	一般社団法人 国際物流総合研究所
後 援	国土交通省、公益社団法人全日本トラック協会、一般社団法人日本3PL協会、日本貨物運送協同組合連合会、独立行政法人日本貿易振興機構、神奈川県、横浜市、公益社団法人北海道トラック協会、公益社団法人青森県トラック協会、公益社団法人宮城県トラック協会、公益社団法人山形県トラック協会、公益社団法人福島県トラック協会、一般社団法人茨城県トラック協会、一般社団法人栃木県トラック協会、一般社団法人群馬県トラック協会、一般社団法人埼玉県トラック協会、一般社団法人千葉県トラック協会、一般社団法人東京都トラック協会、一般社団法人神奈川県トラック協会、一般社団法人山梨県トラック協会、公益社団法人新潟県トラック協会、一般社団法人富山県トラック協会、一般社団法人石川県トラック協会、一般社団法人静岡県トラック協会、一般社団法人愛知県トラック協会、一般社団法人三重県トラック協会、一般社団法人近畿トラック協会、一般社団法人徳島県トラック協会、公益社団法人福岡県トラック協会、公益社団法人佐賀県トラック協会、公益社団法人熊本県トラック協会、公益社団法人大分県トラック協会、公益社団法人鹿児島県トラック協会、公益社団法人沖縄県トラック協会
展示規模	170 社 598 小間
展示面積	約 25,000 m ²
来 場 者	66,831 名
展 示 物	大型、中型、小型、軽の各種トラック、およびトレーラー、特装車、特殊車、作業車などの商用車、それらに関連する機器、部品、用品、資材、物流機器、通信機器、コンピュータなどの OA 機器、関連ソフト・図書、整備機器・中古車

結果概要

■2026年度 展示会規模

170社／598小間

2024年度 実績

156社／564小間

2022年度 実績

143社／520小間

2018年度 実績

129社／434小間

2016年度 実績

77社／230小間

■来場者数

66,831名

2024年度 実績

62,448名

2022年度 実績

53,355名

2018年度 実績

51,744名

2016年度 実績

26,063名

■日別来場者数内訳

開催日	天候	来場者数
5月14日(木)	曇	20,336名
5月15日(金)	晴	23,639名
5月16日(土)	晴	22,856名
合 計		66,831名

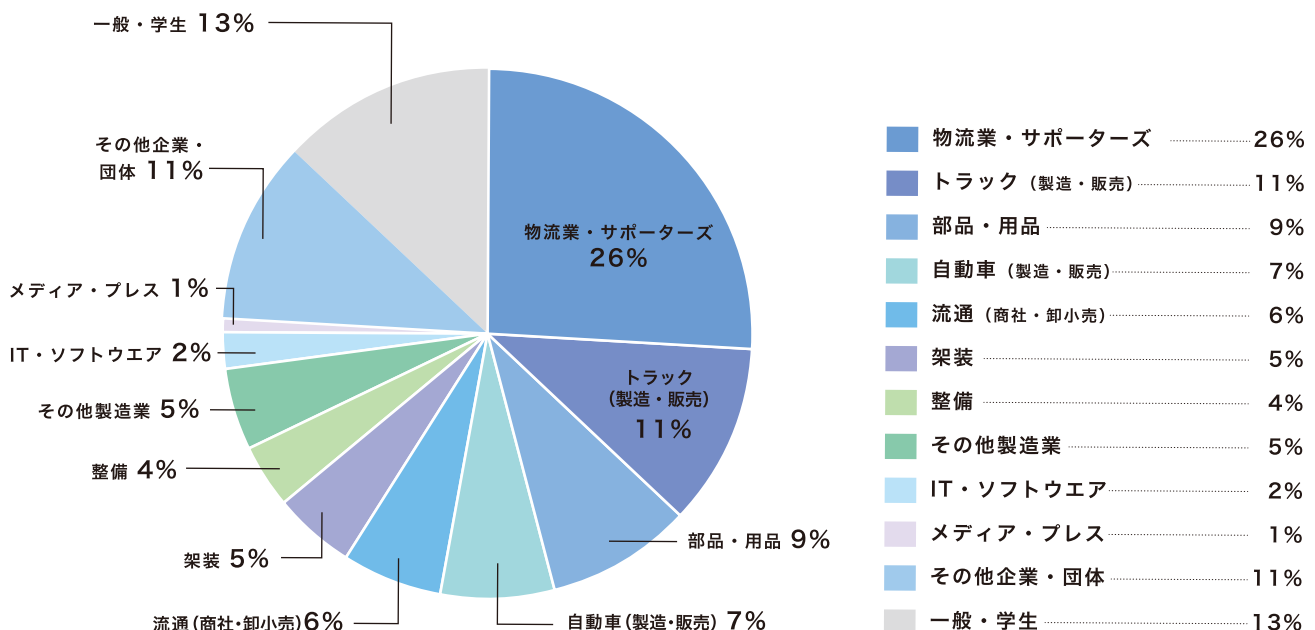
■来訪 都道府県トップ5

1位	東京都	27.2%
2位	神奈川県	27.2%
3位	埼玉県	7.6%
4位	千葉県	5.2%
5位	愛知県	4.2%

来場者の構成

■業種別内訳

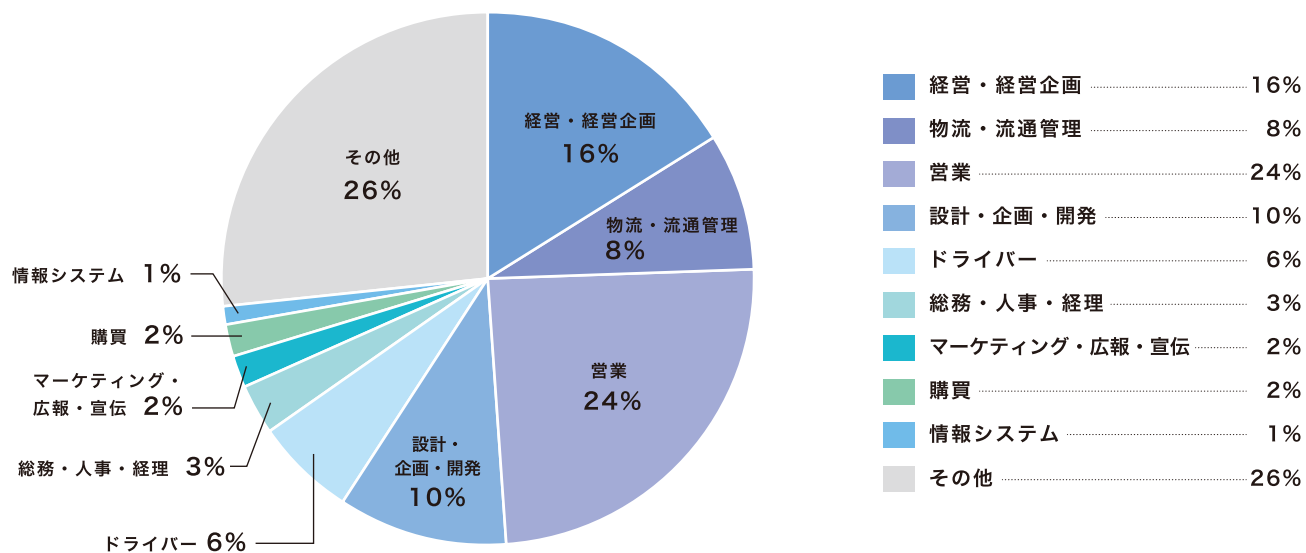
物流業・サポーターズは全体の約1/4、トラック・自動車関連の業界関係者が約半数以上を占め、その他企業・団体には、コンサルティングやマーケティング関連企業、教育機関が多く含まれました。



来場者の構成

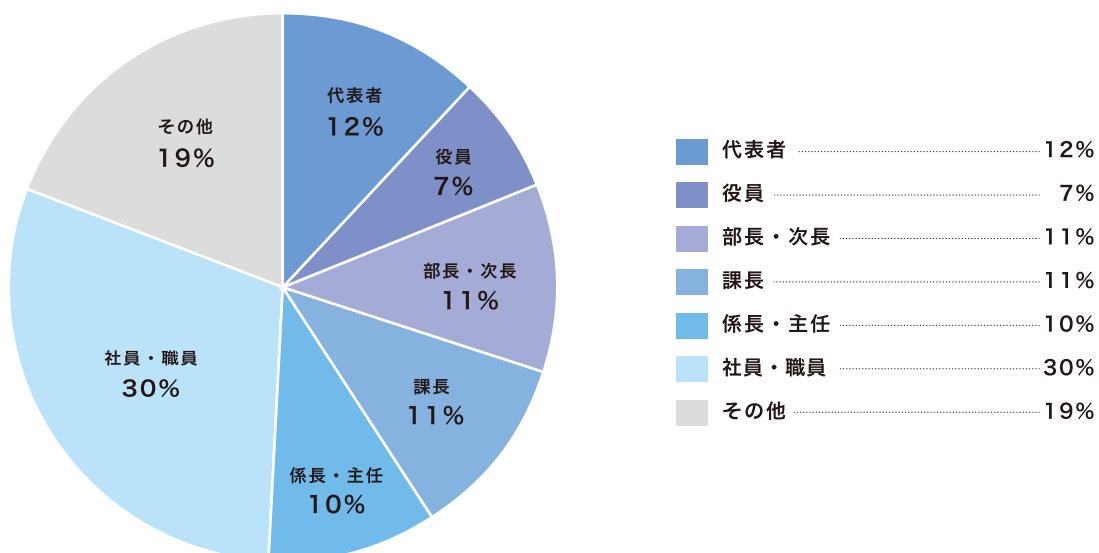
■職種別内訳

経営・経営企画と物流・流通管理、営業で5割弱を占める結果となりました。



■役職別内訳

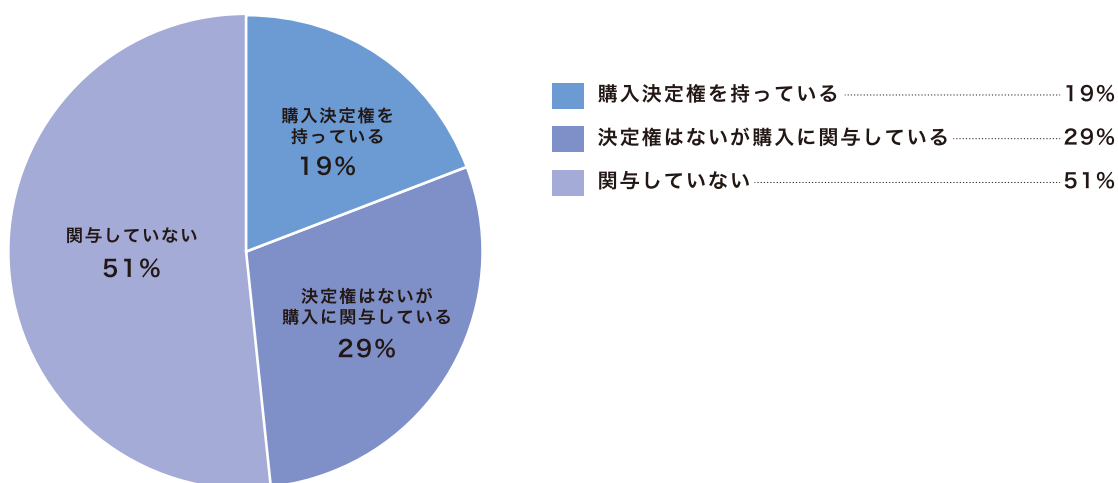
役職者が半数以上を占める結果となりました。



来場者の構成

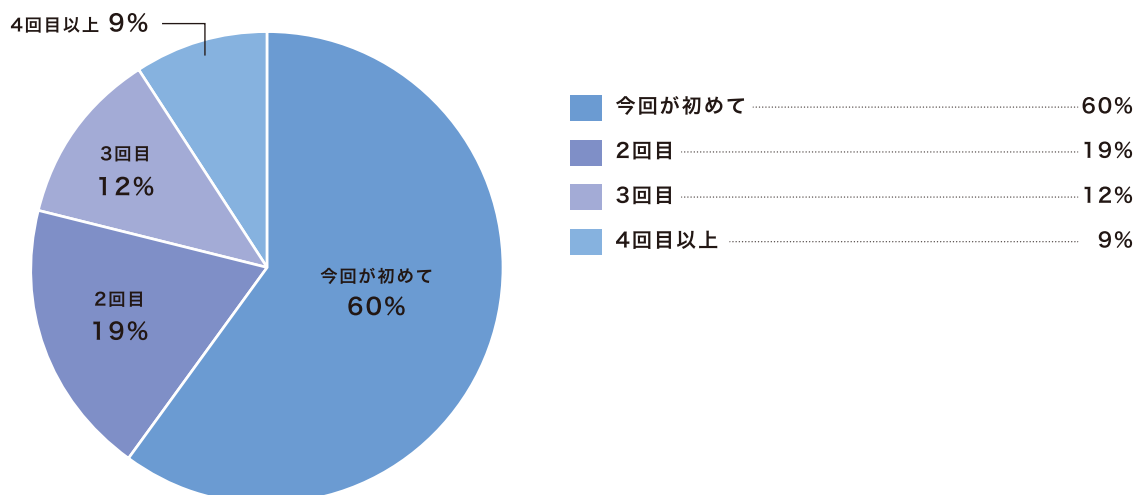
■ 購入決定権について

購入決定に関与する来場者は約半数の割合でした。



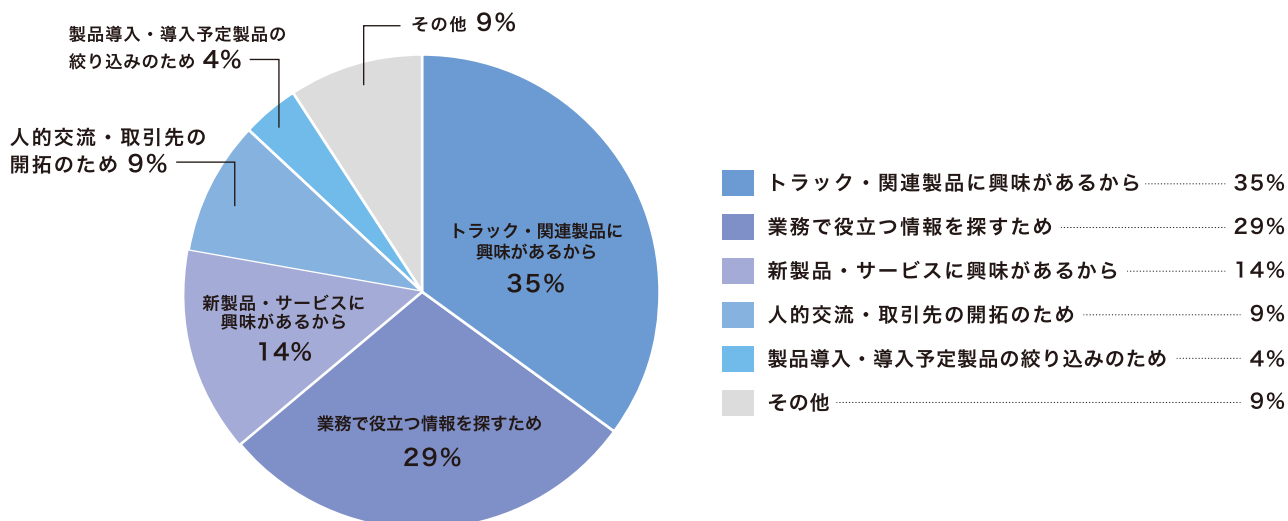
■ 来場回数

初めての来訪が6割以上となり、多くの新規来場者を誘致することができました。



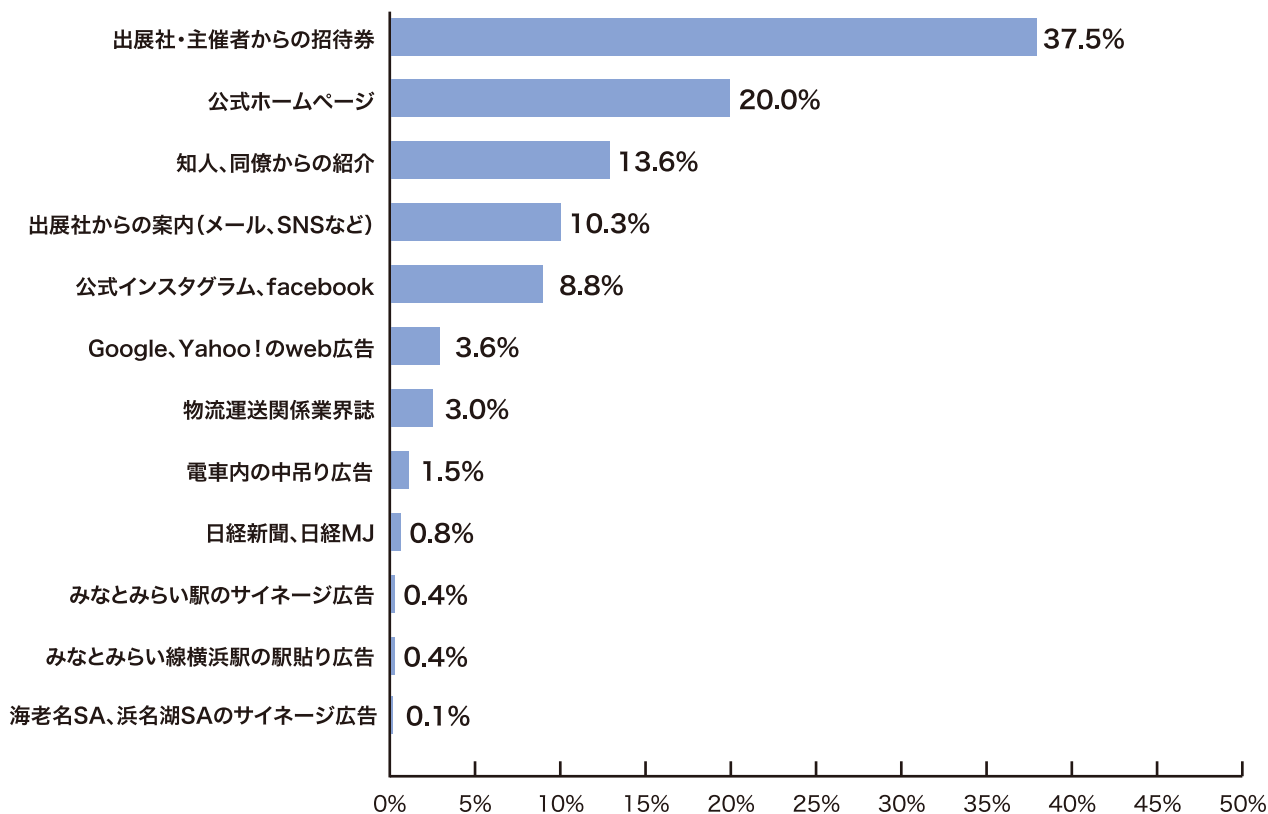
■ 来場目的

トラック関連製品への興味や実務レベルでの情報収集のために来場している結果となりました。



来場者アンケート結果

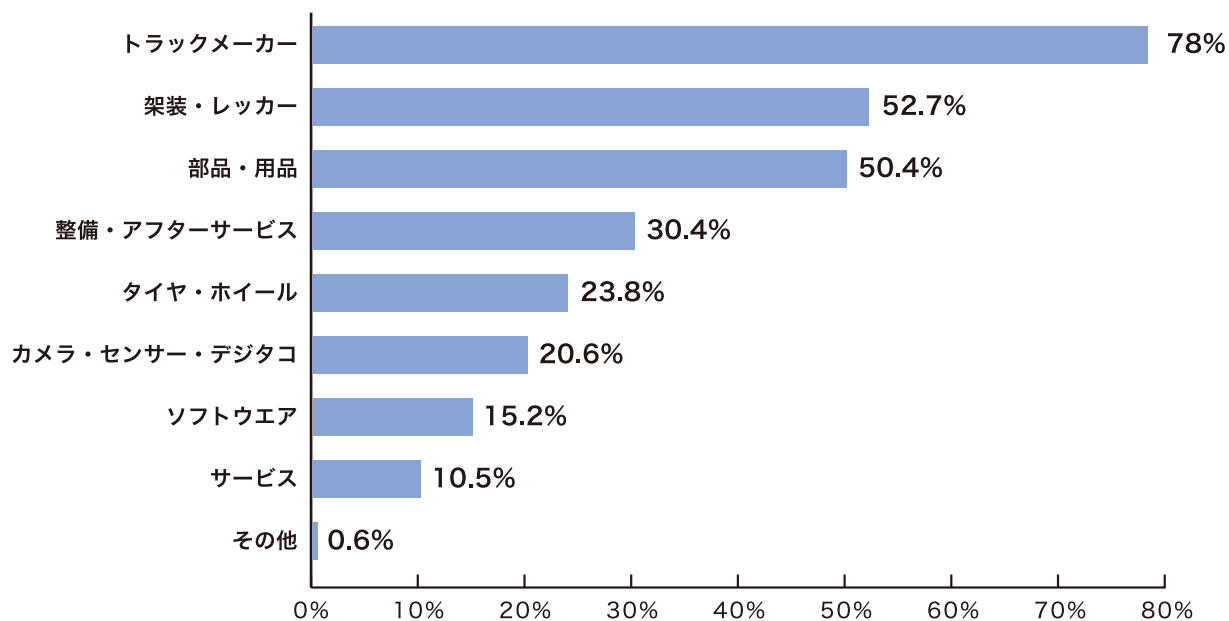
■ 展示会を知った媒体（複数回答可）



その他フリーワード（一部抜粋）

- ・トラック関連の雑誌
- ・自動車雑誌の広告
- ・テレビのニュース番組
- ・大黒PA
- ・プレスリリース
- ・登録したアドレスにメールで情報を受信
- ・トラックYouTuberの番組
- ・サポーターズ
- ・トラック協会
- ・2年前、4年前も来場
- ・協力会社からの案内 など

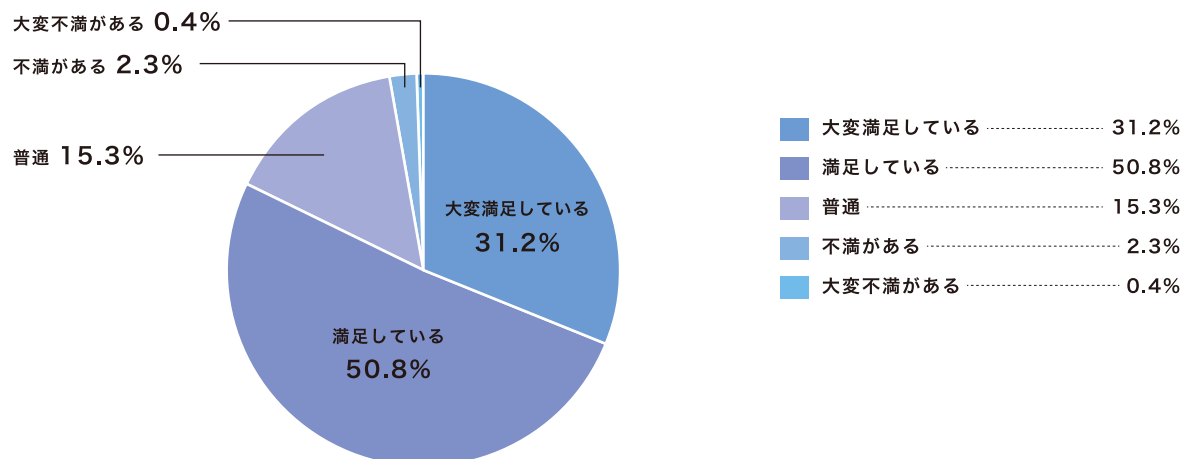
■ 興味のある出展カテゴリー（複数回答可）



来場者アンケート結果

■ 展示会全体への満足感

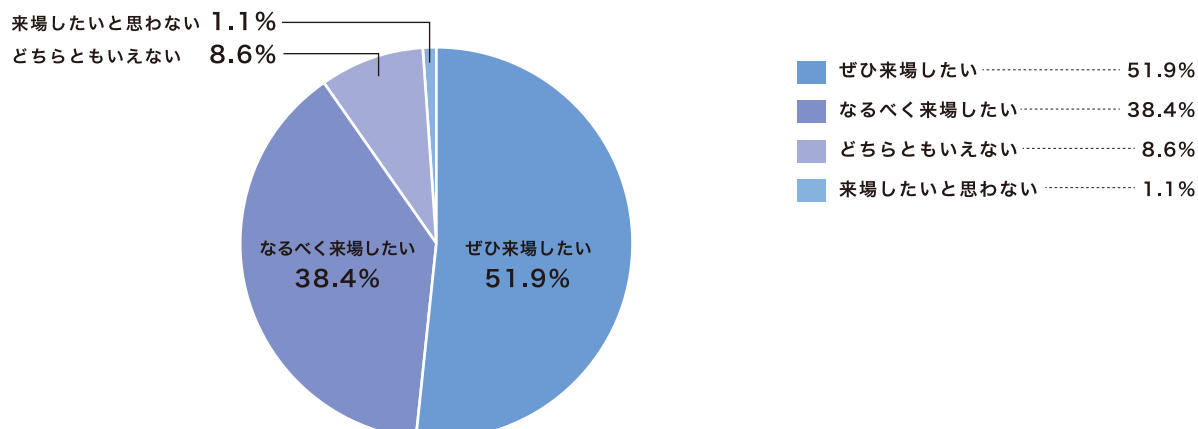
全体の8割以上が満足、約9割が次回の来場に前向きな意向を示しており、実績を重ねながら、安定して高い水準の満足度を獲得しております。



満足度の理由（一部抜粋）

- 2年に一回の大祭典ですので大変楽しみにしております。お伺いすると新たな発見があり、とても刺激があります。次回開催がありましたら是非お伺いしたいです。
- カスタム車輛や積載車のデモンストレーションなど、大型車ならではの迫力のある展示が見応えがありました。
- カタログなどに載っているトラックの実車を隅々まで見ることができ疑問に思っていた部分などが解消された。
- こういうイベントがないと、トラックに特化した情報に接することができないため。
- シャシ、架装メーカーの出展が充実している。もう少し灯火器メーカーが充実しているとうれしい。
- トラックの最新動向の一端を見ることができたため。
- トラックの全てが詰まっており、それぞれのジャンルでの働く車を見ることができ、ケミカルや、工具など、メンテナンスに必要な諸々を見ることができ、購入することができました。
- トラックメーカーから部品等細かい関連企業まで一通り揃っていたかと思しますので、有意義な1日を過ごせました。
- トラック業界に携わっているものですが、新しい動きを感じる事が出来た。
- トラック業界のトレンドや問題／解決案に対して実際に見て触れられた。
- トラック業界全体でこのイベントを盛り上げようという意気込みを感じられた。
- ブース毎に社員の方から生の声を聞けて参考になった。
- まだ開発中だからか、自動運転の内容が乏しい。
- もっとドライバー向けの展示があるとよかった。
- 一般・学生で入場しましたが、メーカーの方等お声をかけて頂けず満足したお話しなどが聞けませんでした。一般だとしてもトラックメーカー等興味があるから行っているわけでとても寂しい気持ちになりました。
- 運転席内や車内からの視界、車両周りなど、普段見ることができない部分なので大変貴重な経験でした。
- 私は飲食店を営む者ですが様々な食材が、たくさんの皆様のご苦勞で届けていただいていますことを、あらためて感じました。
- 来場時に頂いたパンフレットが各出展企業の詳細も書いてあり非常に見学しやすかった。さらに土曜日に参加させて頂いたが子供の来場者が本当に多く、子供に喜ぶイベントも多かったので子供たちが将来運送関係の仕事につきたいと思ってもらえるような出展が多かったと思います。

■ 次回展示会への来場意向



※2026年5月14日（木）～5月16日（土）の会期終了後に実施しました来場者アンケートの集計結果です。

来場者アンケート結果

■印象に残った展示製品

〈トップワード〉

- いすゞ (ISUZU) / GIGA、ELF、ELFmio、EV、自動運転展示
- UD (UDトラックス) / クオン、自動連結、大型車車輪脱落予兆検知装置、アクティブステアリング
- ボルボ (Volvo) / FH、電子ミラー、ミラーレス
- 日野 (HINO) / プロフィア、FCV、水素、燃料電池、ZEV
- ふそう (三菱ふそう) / SuperGreat、キャンター、6R30、eCanter
- セノプロ (セノプロトラックス) / スカニアのカスタム、カーテン車
- ヨシノ (ヨシノ自動車・Fastelephant) / VOLVO 内装、架装、ペイント
- リトラス (RETRUS) / 冷凍車、旧車、架装
- 浜名ワークス / キャリアカー、温度センサー
- TOYO (TOYO TIRE・トーヨータイヤ) / リトレッド、M635
- トレクス (日本トレクス) / 冷凍スワップボディ
- 矢野 (矢野特殊自動車) / 冷凍ウィング、LED 庫内照明
- ダイフク / 大型洗車機
- アルコア / ホイール

- AI配車
- ABE SHOKAIのTEXAの診断機
- airsefe Airball TB
- ALTIAのイージームーバー
- BLACK WOLF社のホイール表面加工
- CENTLESS株式会社のOCTLINK
- Clarion社の運行管理システム
- DOSHIN株式会社の大型レトロフィットEV
- elpis株式会社の『A-CAM3』
- eMotion FleetのEMS
- ENEOSのDPF、オイル、クリーナー
- FIAT社DUCATO
- IRS社のインジェクター洗浄
- KWD社のAIサラウンドビューカメラ
- LB TRUCKS LIQY MOLY
- NPシステム AI点呼
- ROLFOのキャリアカー
- TONE社、KTC社の工具
- TTSホールディングス ターボ
- TUMIX社の動態管理システム
- WASHMANのWASHMAN FOR TRUCK
- WOPULLのレッカー車
- XMILE社のロジボケ
- ZO MOTORSのEVトラック
- アイオロスタイヤのスタッドレスタイヤ
- あかつき レッカー
- アセンド株式会社のロジックス
- アライレッカーのデモ
- アルコールチェッカー関連製品
- アルコアさんのデュラブライトホイール
- アロクスとウニモグ
- イサム塗料の水性塗料
- イチネンケミカルズ 塩害ガード
- イヤサカ社のスマートスーツ、全自動タイヤチェンジャー
- インバイトのAIカメラ
- ウインテスト社のテールリフト
- オレンジジャパンのTPMS
- カヤバ社 電動駆動式コンクリートミキサー車
- クラリオンライフサイクルソリューションズ CJ-12000A
- ケンクラフトのセルフローダー
- サンオータスのディーゼルプロ
- サンキープ株式会社のキープサーモウォール
- シェフラー・ジャパン NOXセンサー
- スズキのスーパーキャリイ
- スノーソックス
- セノプロトラックス、ファストエレファント、KWDの展示ブース
- タカネットサービス S-RENT
- SAILUNのタイヤ、ホイール
- タツノの急速充電器とEVマネジメントシステム
- タフブライト

※2026年5月14日(木)～5月16日(土)の会期終了後に実施しました来場者アンケートの集計結果です。

来場者アンケート結果

- ダンロップのタイヤ再利用の展示
- チャオヤンタイヤ
- ティー・イー・エス社のDPF
- データ・テック社のドラレコ
- テレニシ自動点呼
- トピー工業の鍛造ホイール
- トラック王国、外国人ドライバー
- トランスウェーブ
- ドコマップ社の車両状況把握システム
- NCH 洗浄機
- パーマンコーポレーションのメッキ磨き
- バンザイの整備用品
- ビッグリグカスタムさんレンジャー
- フジタ自動車のあゆみ板
- プレミアソフトプランナー（株）GATCH
- ホワイトハウス社のHyundai ST1
- ミシュランのリググループ
- 三菱製鋼 トラック用冷暖房エアコン、冷感ヘルメット
- ヤシカ車体の家畜運搬車
- ヤマグチレッカーの9055XL、4軸高床レッカー
- 安全自動車のモバイルコラムリフト
- 横浜車両工業の新作カブラ
- 花魁ジャパンのテールランプ
- 花見台自動車のトレーラーミキサー車
- 株式会社コアのIT点呼
- 株式会社聖亘トランスネットワークの自動配車システム
- (株)WacWacのトラック版VR
- (株)ジェイビーシーのFlexLED
- (株)タイガー スマトラ
- (株)川崎/KCV-PARTSの部品全般
- 久松自動車の架装
- 京都機械工具の脱輪事故防止
- 空研のナローレンチ、インパクト
- 栗山自動車工業のリファーマビッシュ
- 群馬通商のLIBERTY WALKラッピングトラック
- 古いエンジンを丸ごとEVに載せ替える展示
- 国田運送社の鎧（YOROI）
- 山庄の架装トラック
- 小糸製作所 金華山歌舞伎テール、テールランプ
- 上陣のランゲンドルフ
- 城南ホールディングのレッカー
- 信和自動車の竹床材
- 伸工貿易 フェンダー
- 辰巳屋興業・日発販売の優良エアサス
- BESTRUCKのタイヤ脱落防止グッズ
- 塚越運送のアオリステッパー
- 東海クラリオン/elpis i:BOX2.0
- 東洋マークのアルコール検知機
- 日鉄物産 リターダ装置
- 日発販売の吸排気系補修部品
- 日本フルハーフのプレミアムフルハーフコート
- 菱重コールドチェーン 輸送用冷凍機
- 矢崎総業のIT点呼システム
- 次の灯株式会社の「煤殺し極 -KIWAMI-」、山積みDPF



※2026年5月14日（木）～5月16日（土）の会期終了後に実施しました来場者アンケートの集計結果です。

来場者アンケート結果

■ 今後希望するテーマや展示内容について

- AIと自動運転。
- EV 電気自動車（トラック）の進化。
- EVの活用、トラックドライバーの未来、世界情勢による物流の影響と日本の立場。
- コンセプトトラックの展示。
- ドライバーの付帯作業（バラ積みなど）軽減の装置などについて知りたい。
- トラックに対する自動運転化の推進は急務であると思います。それに伴い、安全面での整備が加速されると思いますので、次回は安全面に対する先進技術の展示を豊富にいただけると嬉しいです。
- トラックメーカー各社の今後の取り組みについて講演があれば良いと感じました（新しい技術の投入やドライバー不足の対応、また日野と三菱の経営統合は関心があります）※今回はいすゞ様の公演を聴講しました。
- 悪天候での対策ツール、雨濡れ対策、降雪時の荷捌きツールなど。
- 安全管理と安全性能向上評価できる体験。
- 一般の人でもここで働きたいと思わせるような企画等。製品も大切ですが、人材確保という面では1番会社にとって大切かと。
- 環境商材や、燃費向上商材等、トラックにおける環境改善。
- 行政書士による許認可（運送業、特車通行許可、回送運行など）のセミナー、相談窓口。
- 今後の環境対応（CO2削減など）についての企画や展示。
- 今後も物流業界の未来、最新技術について。
- 子供向けにトラックの基礎知識についてパネル展示などであるとよい。
- 女性物流の講演がおもしろかったので、ぜひそのようにトラガールなどにスポットのあてた講演やブース出展があると良い。
- 水素インフラ関係など。
- 電動化と若年層リクルートへの取り組み。
- 特装車の展示と実演を多くして欲しい。
- 物流の効率化とドライバーの安全確保。
- 未来の架装車両の開発や展望、特殊事例など。
- 省力化、省人化、2030年問題は引き続きというイメージ。※もっとリアルな、身近な問題もあれば取り上げてもらいたい。
- 各メーカーのブース集客に対する注力性にも注目したい。
- AIを活かした配車システムなど。
- AI技術によるドライバーサポート。
- CASE/SaaSへの対応の実現化。
- FCV車が今後どうなるのかは興味があります。
- RD燃料等の代替燃料の普及促進のテーマも扱ってほしいです。
- RORO船について知りたい。
- エネルギーや人手不足に対するシステムチックな取り組み。
- グローバルの最新情報。
- ドライバー同士の交流会、トラック運転席の出展。
- ドライバー不足問題に特化した展示品。
- タンク車やバルク車、道路工事での作業車などの特殊な架装をした車体が見たいです。
- トラックのドレスアップやカスタマイズ。
- トラックの整備、修理ができる人が減っている、部品、整備の展示が多ければ良いと思う。
- トラックメーカーによる自動運転デモ。
- トラック業界の10年後の未来。
- トラック業界の歴史や縮図のようなものが展示されていると面白いのではないと思った。
- トレーラーの展示が増えると良い。
- バスも入れてほしい。
- ボディーメーカーさんがもう少し出展して頂きたい。
- 安全運転に関するテーマ、車両やサービス、部品、アルコール検知やナビ、センサーなどの視点で有機的に結合するような企画が見たい。日本のトラックの安全に対する取り組みの集大成が知りたい。またこれを輸送業者のみならず行政・警察と連携してほしい。安全安心な日本を作ってほしい。
- 運送会社が求めているコネクテッドサービスへの要望を聞いてみたい。
- 運転手の負担軽減につながる設備や安全装置。
- 荷役に関する道具（緩衝材、貨物固縛道具等）の展示や代用品、新技術について。
- 海外メーカーのトラック展示。
- 環境対応の大型車の進化。
- 環境問題に特化した展示等お願いしたい（特に研究レベルではなく、実装レベルの技術）。
- 作業の自動化・効率化向上及び負荷軽減アイテム紹介。受入側の受入環境改善設備他。
- 将来の技術に対し、国・政府がどのようなサポートを計画しているのかを見せて欲しい。
- 冷凍関係を多く見たい。

※2026年5月14日（木）～5月16日（土）の会期終了後に実施しました来場者アンケートの集計結果です。

来場者アンケート結果

■その他のご意見・ご感想について

- 2024年のように、試乗ができる企画があると良いと思った。
- 海外勢の勢いが凄いが、日本勢もっと頑張ってほしい。自動車メーカーもその他(レッカー、バスメーカー)、工具メーカーも価格が安いからと言って海外メーカー採用するより、やっぱりメイドインジャパン。
- 皆様の対応が素晴らしかったです。
- 各社、各ブースにおいて業界関係者に対する応対と一般来場者に対する応対に温度差を感じた。本イベントの趣旨や意味は理解出来るが、あからさまな応対の違いは気分が悪いので、応対に差を出すくらいなら「一般来場者はなし。」とするか、最終日は一般来場者専用日とするか…検討してください。
- 休憩スペースのイスやテーブルが少なく感じた。増設していただくと助かります。
- 近年はレッカーショーになってしまった感がある。他業種他業界も頑張って頂きたいと思いました。
- 札幌にも積極的に必ず展示・開催して欲しい!!
- 札幌ドームか「アクセス札幌後継展示場」である月寒グリーンドーム跡地の新展示場をお願いします。開催日時は横浜開催の翌年7月3連休前後に。
- 主催者側には大成功・大盛況で来場者も増えて大OKだったと思いますが、毎回楽しみに来場してきた身としては、ゆっくりトラック好きが何時も聞けないお話を関係者から聞ける場であったのですが、今回はとにかく人が多くなって複雑な気持ちです(笑)
- 初めての来場でしたが、大変良かったです。次回開催時には、HINOとFUSO、ISUZUとUDの一体化やトラックのEV化・自動運転化が進み、今より外国の車両も増えているであろうことを思うと、今年の開催は物流業界が大きく変化・進化する前の貴重な展示であったように思います。(今後の変化・進化の兆しが見える展示としても)
- 土曜日はお子様連れも多く見かけたので、日曜日まで会期延長を願いたい。
- 土曜日も講演やパネルディスカッションをしてほしい。
- 日曜日開催は難しいのでしょうか。会期が平日なので運送会社従業員はなかなか来られないようです。
- 毎年開催してほしい。
- 東日本、西日本の2箇所で開催されれば非常に助かります。
- 東北地方でも開催してほしい。
- 名古屋、大阪でも開催があればうれしい。
- アンケートに答えると粗品をいただける企業が良かった。
- EV車の動向が見られてよかった。
- カーボンニュートラルに向けた具体的な展示や対応手段など、業界以外の展示や案内もして欲しい。
- こどもの質問に対し様々丁寧に対応・回答してくださっている企業様がいて感謝しています。
- これからも継続的な開催を期待しています。
- これからも将来の子供がトラック業界に興味を持てるようなイベントの企画をお願いします。
- シャシメーカーの再編が進んでいるのでこの先どの様になっていくのか知りたかった。
- ドライバーや整備人材確保のための、さらなる集客企画。
- トラック自体もそうだし、タイヤ交換の機会など、色々なものを見るだけでなく、体験できたのがとても良かったと思います。
- できればトークショーも、録画でも良いので見られると嬉しいです。
- また、このようなイベントで触発されて、トラック業界を盛り上げる人材も増えると思いましたので、ぜひ2年後とは言わず、毎年開催いただけるとういのかと思いました。
- トラック輸送の歴史、変遷等について写真やパネルの展示してほしい。
- メーカーの方とのネットワーキングの場がもっとあれば良いと思いました。
- もう少しアフターパーツや整備部品のブースが増えると嬉しいです。
- 一昨年に比べ、来場者の多さに驚きました。(感覚です) 出来れば横浜ではなくビッグサイトを希望します。
- 架装、特殊車両、サービス機器などの現物が見れる貴重な機会が得られてありがたいです。
- 会場が狭いのでもう少し広い場所がいいなと思いました。
- 業界自体に親しみやすさを持ってもらい、就職する人が増えるよう、参加しやすい展示会となってほしい。イメージはIAA Transportationのように一般来場者が楽しめるBBQや子供が楽しめる音楽イベントなども同時開催してほしい。
- 軽トラの展示が少なかったのももう少し有ったら楽しめたかも。
- 今後も継続してトラック業界のPRをお願い致します。
- 試乗や操作など体験型のコンテンツを増やして欲しい。
- 次回2年後もまた来たいです。JR貨物コンテナ運搬車の展示も期待します。
- 数社との取引に発展する可能性が持てました。
- 性能やレクチャー、体験でさらなる商品の素晴らしさを実感。
- 東京ビッグサイトで開催してほしい。
- 東京開催・もう少し展示を増やして、長く見たり、体験が出来る事。
- 平日だけでなく、土曜日も開催しているのはありがたい。今後もそうして欲しい。
- 弊社、車輛導入に際し、トラックショーは様々な発見がありますので、今後も参加し、参考にしたいと思っています。
- 補修用部品の展示を増やしてほしい。
- 来場された一般の方が会場が「ビジネス感が強すぎて素人みたいなことを聞けない」と言っているのが聞こえてきました。専門知識が無い方は展示品に対して質問できる環境・雰囲気が無いと気まずく深くは見に行かないようです。沢山の人の来場してもらい知ってもらうには企業側の努力かもしれませんが簡単などろだと説明ボードをしっかりとるであとかラフに見て楽しめる空間を演出すべきなのかなと思いました。

※2026年5月14日(木)～5月16日(土)の会期終了後に実施しました来場者アンケートの集計結果です。

5月14日(木)			第1会場
時 間	タイトル	講演者	参加数
10:30~11:30	「“運ぶ”の課題解決に向けたいすゞの取り組み」	いすゞ自動車株式会社 開発部門 SVP 常務執行役員兼渉外担当 SVP 兼開発部門 VP 佐藤 浩至 氏	237
12:00~13:30	「物流会社の HRM（人的資源管理）戦略」 パネルディスカッション モデレーター 一般社団法人国際物流総合研究所 主席研究員 仙石 恵一	アサヒロジスティクス株式会社 人財本部 採用育成部 部長 井上 健 氏 花王ロジスティクス株式会社 取締役 人材開発部門 統括 御田 博隆 氏 株式会社ギオン 執行役員 管理本部長 須藤 亮平 氏	106
14:00~15:00	「2024 年問題の本質と解決策～物流共同化を実現する戦略的アプローチ～」 モデレーター 一般社団法人国際物流総合研究所 シニア・フェロー 安藤 康行	法政大学 経営学部 教授 李 瑞雪 氏	107
15:30~17:00	「攻めの運送会社経営 ～採用強化・DX 推進・M&A 活用で描く成長ロードマップ～」	フジトランスポート株式会社 代表取締役 松岡 弘晃 氏 株式会社ベストライン 代表取締役社長 辰己 千里 氏	190

5月14日(木)			第2会場
時 間	タイトル	講演者	参加数
10:15~11:15	「トラック運送業をめぐる最新動向」 国土交通省	国土交通省 物流・自動車局 貨物流通事業課長 指田 徹 氏	177
11:30~12:30	「生成 AI の基礎知識、最新動向～物流業務のどこに生成 AI は使えるのか?～」	アンドドット株式会社 代表取締役 茨木 雄太 氏	201
12:45~13:45	「トラックドライバーの健康を守ることが、物流の未来を守る～健康経営戦略～」	サイショウ・エクスプレス株式会社 代表取締役 齋藤 敦士 氏 株式会社及川健康管理士事務所 専務取締役 及川 祐介 氏	126
14:15~15:45	「次世代を切り開く物流業経営戦略」 パネルディスカッション モデレーター 一般社団法人国際物流総合研究所 客員研究員 渡辺 良祐	株式会社ムロオ 代表取締役社長 山下 俊一郎 氏 株式会社フコックス 代表取締役 鎮目 隆雄 氏 福岡運輸株式会社 代表取締役社長 富永 泰輔 氏 株式会社マイシン 代表取締役 辻 直樹 氏	214
16:15~17:45	「物流業パイオニアが語る今後の経営戦略」 パネルディスカッション モデレーター 一般社団法人国際物流総合研究所 代表主席研究員 岩崎 仁志	株式会社エース 代表取締役会長 林 博己 氏 マルソー株式会社 代表取締役 渡邊 喜彦 氏 ダイワ運輸株式会社 代表取締役社長 木村 泰文 氏 株式会社トワード 代表取締役 友田 健治 氏	132

5月15日(金)			第1会場
時 間	タイトル	講演者	参加数
10:30~11:30	「液体水素の直接利用によるトラックの進化とインフラ課題の解決」	三菱ふそうトラック・バス株式会社 取締役 副社長 開発本部長 安藤 寛信 氏	205
12:00~13:30	「3PL で未来を変える～物流の価値を高める協創戦略～」 パネルディスカッション モデレーター 一般社団法人日本 3PL 協会 専務理事 加藤 進一郎 氏	センコーグループホールディングス株式会社 専務執行役員 ビジネスサポート事業本部長 藤田 浩二 氏 アスクル株式会社 ロジスティクス本部長 兼 CLO 池田 和幸 氏 株式会社ハイペリオン 代表取締役 CEO 潮川 英則 氏 サン インテルネット株式会社 代表取締役社長 三田 竜平 氏	125
14:00~15:00	「年商 10 億円以下の中小企業でドライバー採用ができていないポイント 3 選」	株式会社 Indi Works 代表取締役 濱田 悠佑 氏	96
15:30~16:30	「SBS グループが手掛ける外国人ドライバー育成事業の全容」	SBS 自動車学校株式会社 代表取締役社長 大戸 正昭 氏	104
16:45~17:45	「社風改善はルールの見直しから !! 会社を守る “未来型・就業規則” が運送業の経営者と社員を救う !!」	株式会社ブレイン・サプライ 代表取締役 岡 弘己 氏	65

5月15日(金)			第2会場
時 間	タイトル	講演者	参加数
10:15~11:45	「2024 年問題を越える！物流の女社長が語る突破力。」 パネルディスカッション モデレーター 一般社団法人 国際物流総合研究所 主任研究員 林 玲琴	今井運送株式会社 代表取締役社長 今井 麻衣子 氏 株式会社誠輪物流 代表取締役社長 野坊戸 薫 氏 松下運輸株式会社 代表取締役社長 坂田 生子 氏 株式会社ハンナ 代表取締役社長 下村 由加里 氏	180
12:15~13:45	「ネットワークを活用した物流業経営」 パネルディスカッション モデレーター 一般社団法人国際物流総合研究所 代表主席研究員 岩崎 仁志	富良野通運株式会社 代表取締役/博士(商学) 永吉 大介 氏 株式会社丸総 代表取締役社長 橋口 智規 氏 株式会社協地運送 代表取締役社長 金子 武司 氏 株式会社大昇物流 代表取締役社長 和野 裕一 氏	127
14:15~15:45	「“会社”ではない、選ばれているのは社長だ！～2030 年、勝ち残る組織を作る “3 つの実践”～」 パネルディスカッション モデレーター ワンロジ株式会社 代表取締役 吉岡 泰一郎 氏	株式会社ライフサポート・エガワ 代表取締役社長 CEO 江川 哲生 氏 結城運輸倉庫株式会社 代表取締役社長 結城 賢進 氏 八大株式会社 代表取締役 岩田 享也 氏	213
16:15~18:00	「これからのトラック運送業の進む道」 パネルディスカッション モデレーター 一般社団法人国際物流総合研究所 客員研究員 黒澤 明	一般社団法人 東京都トラック協会 会長 水野 功 氏 一般社団法人 埼玉県トラック協会 会長 連藤 長俊 氏 一般社団法人 神奈川県トラック協会 副会長 東海林 憲彦 氏 一般社団法人 茨城県トラック協会 会長 小倉 邦義 氏	150

出展社一覧

■ 170社598小間の企業様にご出展いただきました。

トラックメーカー

いすゞ自動車株式会社／UDトラックス株式会社
日野自動車株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社
スズキ株式会社
ZO MOTORS 株式会社
ボルボ・トラック
FIAT Professional

架装・カスタム

ARKER
アライレッカー (有限会社荒井商事)
EU TRAILERS
ウインテスト株式会社
LB Trucks JAPAN
株式会社上陣
カヤバ株式会社
栗山自動車工業株式会社
株式会社信濃車体製作所
SENOPRO TRUCKS 株式会社
株式会社塚腰運送
DOSHIN 株式会社
日本トレス株式会社
日本フルハーフ株式会社
HYDRO-TEK.CO.,LTD
株式会社花見台自動車
株式会社浜名ワークス
HANSUNG SPECIAL / ティーエスコポレーション(株)
株式会社ヒサツホールディングス
フォレストテック株式会社
フジタ自動車工業株式会社
ホワイトハウスキャンパー
株式会社ヤシカ車体
株式会社矢野特殊自動車
横浜車輛工業株式会社
株式会社ヨシノ自動車 (FastElefant)
株式会社リトラス
菱重コールドチェーン株式会社
ROLFO
ワイ・エンジニアリング株式会社

レッカー

株式会社あかつき
360 株式会社
株式会社城南ホールディングス
株式会社ヤマグチレッカー
山荘株式会社 ボディマン
株式会社 WOPULL

IT・ソフトウェア

アセンド株式会社
eMotion Fleet 株式会社
株式会社 NP システム開発
快走韋駄天
有限会社黒潮重機興業
X Mile 株式会社
株式会社コア
聖亘トランスネットワーク (TransSupporter)
株式会社タイガー
株式会社 TUMIX
株式会社デジタルロジスティクス
テレニシ株式会社
株式会社ドコマップジャパン
ハコベル株式会社
株式会社 PALTEK
プレミアムソフトプランナー株式会社
株式会社 WacWac

整備・アフターサービス

株式会社アイ・アール・エス
株式会社阿部商会
株式会社アルティア
安全自動車株式会社
株式会社イチネンケミカルズ
株式会社イササカ/エムケー精工株式会社
NCH Japan
ENEOS 株式会社
小野谷機工株式会社
カイセ株式会社
株式会社空研
KTC 京都機械工具株式会社
株式会社サンオータス
株式会社ダイフクプラスモア
株式会社タツノ
TONE ALPHA
株式会社バンザイ
プロフレックス株式会社
ユネックス合同会社

タイヤ・ホイール

AEOLUS タイヤ
ALCOA® WHEELS
株式会社 Climate / Black Wolf
株式会社タッチョー (SAILUN TIRE / DOT-X)
株式会社ダンロップタイヤ
チャオヤン ジャパン
TOYO TIRES
トピー工業株式会社/トピー実業株式会社
日本製鉄株式会社
日本ミシュランタイヤ株式会社/株式会社ニッタタイヤ
BBF 協同組合 ビービーエフヤママテ
LONG MARCH TIRE

部品

ウッドウィン株式会社/ LUCIDITY CO.,LTD
株式会社川崎/KCV-PARTS
株式会社 KWD
株式会社ジェイ ビー シー
シェフラー・ジャパン株式会社
ショウワガレージ
信越電装株式会社
伸工貿易株式会社
信和自動車工業/ LAGOaccessori
株式会社ターボテクノサービス
辰巳屋興業株式会社
株式会社ティール・エー・エス
寺村工業株式会社/合同会社ウェルジグ
トラックパーツ ナイトスター
株式会社ながおテクノ
中野スプリング株式会社
日発販売株式会社
HORPOL A. Horeczy Sp.k.
ヤマダボディーワークス
Reflexallen



用品

旭エンジニアリング株式会社
イサム塗料株式会社
株式会社石井
WASHMAN
AirSafe
エバスベヒャーミクニ クライメットコントロール システムズ
花魁ジャパン
株式会社オズ・エンジニアリング/太倉京和機電有限公司
株式会社オレンジ・ジャパン
有限会社川原代自動車電機工業所
カンコービズウェア株式会社
関東車輛株式会社
キーフェル株式会社
国田運送有限公司
株式会社ケービーエル
株式会社小糸製作所
公洋商事株式会社
サンキープ株式会社
ZHEJIANG PUJIANG BOHU CHAIN STOCK CO., LTD.
Zafety Lug Lock ® (田坂鋼業株式会社)
次の灯株式会社
TESORO-Japan 株式会社
株式会社東洋マーク製作所
日鉄物産株式会社
株式会社パーマンコーポレーション
BIGRIG CUSTOM SHOP
株式会社ファンメタル
株式会社 BESTRUCK
ベバストサーモアンドコンフォートジャパン株式会社
MAX TRADING
株式会社松本日光舎
三菱製鋼株式会社
ロジ・コンビニエンス株式会社
ロックペイント株式会社

サービス

株式会社アスア
株式会社タカネットサービス
株式会社ドラ EVER
株式会社トラックオーコク
ドラビタ
株式会社日光オート / 有限会社野田レッカー
UJ GROUP

カメラ・センサー・デジタコ

株式会社 INBYTE
elpis 株式会社
クラリオンライフサイクルソリューションズ株式会社
GOドライブ株式会社
CENTLESS 株式会社
株式会社データ・テック
株式会社テレコム
Maxan Korea Co., Ltd
矢崎総業株式会社

教育・その他

一般社団法人 AZ-COM ネットワーク
O2 Capsule box
関西ペイント株式会社
KEN KRAFT / PLATZ
株式会社トランスウェブ
株式会社ハンナ
株式会社平野ロジスティクス
一般社団法人国際物流総合研究所

【テレビ】

- 株式会社テレビ東京
- 株式会社テレビ朝日
- 株式会社テレビ神奈川
- 千葉テレビ放送株式会社
- 株式会社日本ケーブルテレビジョン (CATV)
- 日本放送協会 (NHK)
- 株式会社日本テレビアート

【ラジオ】

- 横浜エフエム放送株式会社
- 株式会社ニッポン放送

【新聞・業界紙】

- 読売新聞東京本社
- 日本経済新聞社
- 産業経済新聞社 (産経新聞)
- 神奈川新聞社
- 日刊自動車新聞社
- 自動車新聞社
- 物流産業新聞社
- 輸送経済新聞社
- 物流ニッポン新聞社
- 物流ウィークリー
- 交通タイムス社
- 日本物流新聞社
- 燃料油脂新聞社
- 油業報知新聞社
- 産業タイムズ社
- 日刊工業新聞社
- 日刊建設工業新聞社
- 水産タイムズ社
- 化学工業日報社
- エアゾール産業新聞
- 環境新聞社
- 全国石油商業組合連合会「ぜんせき新聞」
- 日本畜産振興会 (畜産系業界紙)
- カーゴニュース
- 産業新聞社
- 株式会社プロトリオス

【雑誌・出版社】

- 株式会社好文舎 (fullload)
- 株式会社三栄 (モーターファン)
- 株式会社八重洲出版
- 株式会社ぼると出版 (バストラック誌)
- 株式会社芸文社 (カミオン)
- 株式会社月刊ガソリンスタンド社
- 株式会社月刊タイヤ社
- 株式会社公論出版
- 株式会社講談社BECK
- 株式会社小学館
- 株式会社ダイヤモンド社
- 株式会社水産新聞社
- 株式会社ムックハウス
- 株式会社アドベル

【WEB】

- LOGISTICS TODAY株式会社
- 株式会社イード (レスポンス等)
- 日経BP
- 株式会社メディア・ヴァーグ
- タウンニュース社
- 株式会社コーティングメディア
- 株式会社ライノス・パブリケーションズ

(順不同)

ご協力ありがとうございました。

Next Truck Show Information



次回開催予定

2028 5/11(木)・12(金)・13(土)

パシフィコ横浜

開催概要

名 称	ジャパントラックショー 2028
会 期	2028 年 5 月 11 日 (木)、5 月 12 日 (金)、5 月 13 日 (土) 10:00～18:00 / 最終日は 17:00 にて終了
会 場	パシフィコ横浜
主 催	一般社団法人 国際物流総合研究所
展示規模	180 社以上 600 小間以上 (想定)
展示面積	25,000 m ² (予定)
来 場 者	68,000 人 (見込み)
展 示 物	大型、中型、小型、軽などの各種トラック・トレーラー、特装車、特種車、作業車などの商用車、関連機器、部品・用品、物流機器、通信機器、関連ソフト・図書、整備機器・中古車など

スケジュールのご案内

出展申し込み受付開始日	2026 年 11 月下旬 (予定)
開催説明会	2027 年 2 月下旬 (予定)
出展申し込み締切日	2027 年 11 月末 (予定)
出展社説明会	2028 年 2 月 (予定)
搬入日	2028 年 5 月 9 日 (火)、10 日 (水) (予定)
展示会開催	2028 年 5 月 11 日 (木)、12 日 (金)、13 日 (土)
搬出日	2028 年 5 月 13 日 (土)

お問い合わせ

【ジャパントラックショー事務局】 一般社団法人 国際物流総合研究所 担当：坂口、矢野
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-10 ユニコム人形町ビル 7F
TEL.03-3667-1572 FAX.03-3667-1581 URL <https://truck-show.jp> MAIL jts-contact@truck-show.jp

